

# デコ通



イメージキャラクター  
デコポン

DECOポンニュースレター

2010年10月1日 発行

vol.15

## ボラみみより情報局



あなたにできる  
ボランティアを見つけよう。

### ボランティアとは

ボランティアの醍醐味は、自分の持っている能力を発揮し、それが人から喜ばれることです。その瞬間に出会えたときに感動や喜びを感じることができます。この世に、何もできない人はいません。絵がかける、字がかける、掃除ができる、料理ができる・・・、そんな普通のこと、ボランティアになります。12月11日(土)に開催されるDECOスクール名古屋キャンパスでは、多くのボランティアの活躍、またさまざまなボランティアの活動紹介を見ることができます。ぜひ足を運んで、あなたのできることを発見してみてください。

# DECOポンズの交換エコ日記



## 第11回「ボランティア」編

DECOポンズのみなさんにエコ日記を交換いただくこの連載。第11回目の今回は、2010年8月よりDECOポンズの応援する分野を環境だけでなく、すべての社会貢献活動を対象とするようになったことから、社会貢献活動の象徴ともいえる「ボランティア」をテーマにエコ日記を寄せていただきました。

### タイトル: ボランティアレポート

今回、ボランティアというお題をいただいて、自分の中にあるイメージにのっとり、2週に渡って休日にごみ拾いをしてきました。用水路周辺のごみ拾いをしたのですが、投棄されているごみが想像していたより少なく、刈谷は捨てる人が少ないんだなと思いました。しかし、同じ場所にまた行くと空き缶が捨てられており、捨てるににくい環境づくりは大変であることが身にしみました。これからは、時々見に行こうと考えています。

きたがわ ともひろより



廣田 和成さんからリレー  
エンジン機器技術部



北川 智大さん  
電子技術1部

杉立 英二さんからリレー  
IC技術3部



大前 真広さん  
熱交換器開発部

### タイトル: 献血

ボランティアと聞くと構えてしまいましたが、献血も身近なボランティアかと。先日、社内で献血する機会がありました。血の気たっぷりの私はあっという間に400mlに達し、物足りなさを感じましたが、一方では問診で献血不可と判断された人も多かったようです。成分献血のように種類は増えてきましたが、さらに増やせばより多くの方が献血しやすくなるし、もっと私の血も抜いてもらえれば血の気が引いておとなしくなるのですが……。 おおまえ まさひろ より

### タイトル: 痛恨の結果

骨髄バンクにドナー登録して9年。今まで一度だけ適合者が見つかったことがあります。提供する気満々で望んだ健康診断で、まさかの体調不備との結果が。何度も再検査をお願いしたけど結果は変わらず…(泣) あれから2年、毎週ジムに通い体力強化に努めています。ボランティアを行うにも、まずは自分が健康であることが大事と気づかされた出来事です。

すぎうら しゅんじより



中島 義則さんからリレー  
デバイス製造1部



杉浦 俊二さん  
デバイス製造2部

第15回

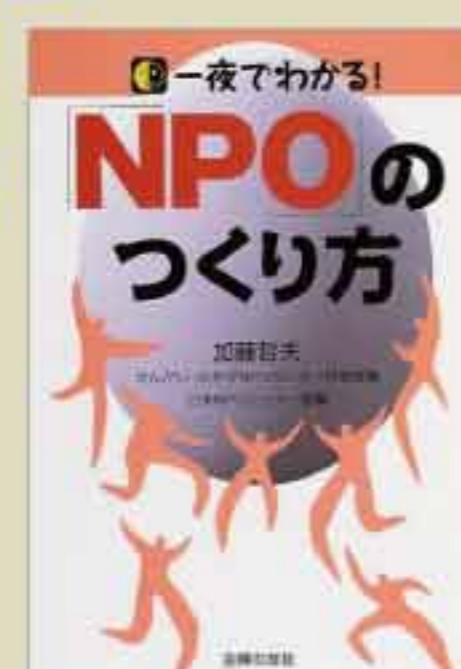
「ボランティア」編

## デコポン ライブラリー

自分も地域社会にも気持ちいい生活を実践するために、この「デコポン・ライブラリー」では、そのヒントになるような本や映画、音楽などを紹介していきます。

第15回目のテーマは「ボランティア」です。

## 一夜でわかる!「NPO」の作り方



主婦の友社/加藤 哲夫 著

最近、「NPO」という言葉をニュースなどで耳にすることが多くなってきましたね。「NPOって何? ボランティア? 市民活動?」と疑問をお持ちのあなた! 答えは本の中にありますよ! NPOの中身を知ることができる一冊です。

(DECOポンサポーター 木村 祐哉さん)



開催日：2010年6月27日(日)  
場所：デンソー本社5号館1~3F

地域の未来を見に行こう

DECOスクールは、環境月間行事に位置づけ、一人ひとりが日常生活の中で取り組めるエコアクションを学ぶ場として07年度から開催。今年度も昨年度に引き続き、デンソーが応援している市民団体やデンソー社員によるボランティア活動を紹介する場を統合し、エコアクションを含めた様々な分野の社会貢献活動を学べる場として開催することができました。



多くの参加者でにぎわう「大DECO市」の様子。出展者も参加者も「いろんなつながり」を感じてもらいました。

今年度は、自分たちの未来のために、今からできる『はじめの一步』をテーマに「大DECO市」「ハートフルまつり」「モノづくり体験・ミニ勉強会」の豪華3本柱で開催。パンドラの会の代表理事・岡部扶美子さんによる

ハートフル講演会、タレント原田さとみさんによるDECOポンフォーラムなど41の講座を開催し、1,617名の方に来場していただきました。

メインの「大DECO市」では、地域の未来のためにがんばっている65の市民団体が一堂に会し、手作りクッキーや有機野菜の販売、モノづくりレクチャー、各種PRなど、団体の特徴を生かしたブース出展をしていました。会場をいっぱいにした多くの参加者が、会場のあちこちであらゆる分野で活躍する団体の方とお話していたり、レクチャーを受講してみたり、会場内を散策している姿が見られ、それぞれの楽しみ方を垣間見ることができました。

今後も、社会貢献活動を知ってもらうため、団体と連携強化し、楽しく気軽に取り組めるアクションを紹介できるようにがんばります。(総務部・片岡光洋さん)



「みんなで力を合わせれば、何でもできる」、「社会に貢献する手段はたくさんある」など、それぞれの思いをDECOツリーに吊るしてもらいました。

## DECO ポンサポーター大活躍!



### 大DECO市

#### 問題は山積み!でも大成功だった大DECO市

DECOポンサポーター 堀川 健一郎さん(ボデー機器技術2部)

今回の大DECO市は、65団体も集結したため準備も大変でした。会場レイアウトや出展団体のPR、パンフレット等、決めることはたくさんありました。担当したDECOポンサポーター7人は出展団体・来場者・事務局の立場をそれぞれ考え、みんなが楽しんでもらえることに気を遣い、進めていきました。仕事の後、夜遅くまで打ち合わせすることもありました。その甲斐あって、当日会場に集まった方々のいい顔を見た時には心から喜びを感じました。



みなさん、ありがとうございました。

### 映画「里山」上映会

DECOポンサポーター 田木 淳一さん(熱機器製造2部)

来場者のみなさんが『楽しんで』『何かを知り』『何かを考え』『何らかのアクションのきっかけ』としてもらえるように、「里山=共存」というキーワードを軸に(1)里山のクイズ(=楽しむ)(2)里山の勉強(=知る)(3)里山についてグループトーク(=考える)(4)身近なエコアクションの紹介(=行動する)をしました。当初はこの映画で人を集め、何かに気づいて帰ってもらうのは至難の業だと思いましたが、来場者のみなさんが笑顔になって帰ってくれたのがとてもうれしかったです。



## 世界を変える人たち

—社会起業家たちの勇気とアイデアの力—

世界を変える人たち

社会起業家たちの勇気とアイデアの力



ダイヤモンド社/  
デービット・ボーンスタイン 著、井上英之 監修

「社会起業家」を知りたい人は必読です。彼らが起こした小さな行動がいつの間にか大きなものとなり、周囲や社会を変えていく過程は圧巻です。私たち一人ひとりには小さな存在でも、信じれば社会を動かす力になれることを教えてください。(DECOポンサポーター 安田 輝英さん)

## 6歳のお嫁さん

—亡き娘から託された「いのちの授業」—



実業之日本社/鈴木 中人 著

愛娘の死をきっかけにNPO団体「いのちをバトンタッチする会」を立ち上げた元デンソー社員である筆者が、娘の死を通して「いのちの大切さ」について訴えています。こういう活動があることを知ること、応援することもボランティア活動です。(ボランティア支援センター 山田 昌代さん)



そんなあなたにご案内!

# ボランティア情報サイト「スマイルゆうネット」

～どなたでもアクセスが可能になりました～

※スマイルゆうネットとは、トヨタグループ及び西三河・東三河の行政と連携しているボランティア情報サイトです。

## スマイルゆうネット利用の流れ

① 参加できそうなボランティア活動をさがす&申し込む



スマイルゆうネット  
(ボランティア情報サイト)

② 案内



③ ボランティア活動に参加!



さらに・・・

自分たちでボランティア活動を企画・運営することができるよ!  
興味のある方は、下記問い合わせ先または製作所総務窓口まで

### 【スマイルゆうネット】

PCサイト: <http://www.genki365.com/smile/>

携帯サイト: <http://genki365.net/gnkt/i/>

問い合わせ先: 株式会社デンソー 総務部

企画2室 ボランティア支援センター

内線: 551-40147

外線: 0566-25-6528

E-Mail: ZC813\_KOKORO@denso.co.jp

★デンソー社員の方は従業員番号で申し込みができます♪  
(自宅からも検索・申し込みが出来ます)

① 参加してみたい情報をクリック

② 必要項目を記入

③ 詳細を確認して「申し込み」ボタンを押すだけ

④ 活動後、ポイント申請をしてDECOポンゲット!



## Q&A

# DECOポン事務局

～第6回～

# デコポン往復書簡



やさわ

エコ通勤とは何ですか?

デコポン

CO2削減効果の高い電車やバスといった公共交通機関や、CO2をまったく出さない自転車や徒歩による通勤のことを「エコ通勤」といいます。

例えば片道5kmの人がクルマから自転車へ「エコ通勤」したら?

デコポン

2リットルのペットボトルで毎日590本のCO2が削減出来ます。これは高さ15m(3～4階の建物と同じくらい)のクスノキが1日に吸収できるCO2の量とほぼ同じなんですよ。

デンソーでは本社が34%(約4,100人)、製作所では78%(約21,000名)がクルマ通勤です。今クルマ通勤の「デコ通」読者のアナタ、毎日クスノキ何本分のCO2を排出していますか? ちょっと考えてくれるだけでもデコポンはうれしいな。

※2010年10月よりエコ通勤キャンペーン実施中! 詳しくは9月27日発行の全社通知399号をご覧ください。

### 編集後記



はじめまして、9月から新メンバーに加わりました竹内です。1年半の育児休暇から復職しました。休暇中は家事と子育てに追われる毎日でしたが、そんな中で、私にもできる気軽なエコを見つけて実践していました。洗濯用洗剤はすすぎ1回でOKのものを使う、使い古したタオルを料理の後片付けに細かく切って利用

するなど、簡単にできることですが、環境にもやさしく家事時間も短縮できるので、ちょっとうれしくなります♪

これからDECOポン事務局のメンバーとしてがんばっていきますので、みなさんよろしくお祈りします。

DECOポンニュースレター: デコ通(デコツウ) vol.15

発行日: 2010年10月1日

発行人: 岩田 泰志

編集: 株式会社デンソー 総務部 企画2室 DECOポン事務局

デザイン: ORGANデザイン室

印刷所: 株式会社デンソーユニティサービス

(C) 株式会社デンソー 2010年 Printed in Japan 落丁・乱丁本はお取り替えます。

### 【お問い合わせ】

株式会社デンソー 総務部 企画2室 DECOポン事務局

TEL: 0566-63-7515(内線: 551-49980)

FAX: 0566-25-4962(内線: 551-92430)

URL: <http://www.denso.co.jp/ja/csr/social/social/decopon/>

E-mail: DECOPON\_INFO@denso.co.jp



特集

# 自分が気づいた問題に、 自発的に行動するのがボランティア

特定非営利活動法人ボラみみより情報局 代表理事  
織田 元樹さん インタビュー

今回のテーマは「ボランティア」。名古屋を中心に10年以上、ボランティアの無料情報誌『ボラみみ』の発行を続けてきた織田元樹さんに、その立ち上げの経緯や、ボランティアに興味ある人へのメッセージをいただきました。

聞き手：蒲勇介（ORGAN デザイン室）



## ボランティアを見つけるのに 1年もかかった！

私は30歳のときにボランティアを始めましたが、その障がい者支援の団体を見つけるのに、なんと1年もかかりました。当時はネットもないし、ボランティアの情報がほとんどなかったんです。でも現場ではどの団体もボランティアが足りないという。そんな中、ふとコンビニで無料求人情報誌を見つけ、「これだ！」と思いました。ボランティアの無料情報誌があれば、ボランティアしたい人と求めている団体をつなげられると思ったんです。それからは行政などがつくるべきだと主張してきましたが、あるときその矛盾に気づきました。

自分が気づいた問題に対して、自発的に行動するのがボランティアなんです。必要だと思うのなら自分で始めるべき。かといって、当時の私にいきなりそれをやる自信はありませんでした。たまたま北海道の先進事例『ボラナビ』という情報誌の方にお話を聞きに行きました。彼女は思いついてからたった3ヶ月で発行にこぎつけたというのです。その晩は悶々と悩みました。自分にそんなことはできない…。でも、時間を倍かけたらできるんじゃないか、よし、やろう。そう決意してから、多くのボランティア仲間に声をかけ、その月のうちに4人のメンバーで団体を立ち上げました。

## ボランティア初心者が 一歩踏み出せる後押しを

それまでボランティア活動の中で取り組んだ仲間集めの実践を通して、どんなところで配布すると人が集まるか、どんなメッセージが届くのかなどのノウハウは持っていました。情報誌づくりは初めてでしたが、「初心者の入り口しかやらない」というコンセプトを決め、初めてボランティアにチャレンジする人をターゲットにしました。ボランティア情報だけでなく、読み物や記事もすべて、活動に関われる、未来につながることを前提に取材しました。そしてタイトルは、ボランティアの耳寄り情報を発信するというので、『ボラみみ』と名づけました。立ち上げて1年間は、僕が必要なお金を全額出すと宣言してやりました。みんなにバカだって言われましたね(笑)。でも、地道に続けたことが信頼につながって、お仕事をいただいたり、団体としては自立できました。

実は意外と思うかもしれませんが、どの自治体でも調査をすると、「ボランティアに興味がある」という人が人口の65%以上を占めるんです。それだけの母数があるのだから、「少しがんばればできそうだ」とその人が一歩踏み出すことを後押しする言葉をちゃんと伝えられる団体には、ボランティアは集まりますね。

profile 織田 元樹 おだ もとき

1999年7月に仕事の傍ら4名のボランティアで「ボラみみより情報局」を設立。2000年4月よりボランティア情報誌「月刊ボラみみ」を1万部発行。PC版・携帯版ボランティア情報サイトの運営、個人ボランティア登録サイトの運営。その他、冊子制作、研修、コンサルティング、イベント運営など、ボランティアやNPOに関わる事業を展開。2004年8月から2008年3月まで、「なごやボランティア・NPOセンター」を3つのNPO法人でコンソーシアムを組み、指定管理者制度により運営、所長を務める。2008年～2009年愛知県NPOアドバイザー設置事業(一般)にて相談業務など、市民活動に関わる事業を展開。

2面へGO!





## ボランティアに興味あるデンソー社員のみなさんへ

私は、心揺さぶられて感動することがボランティアをする人の原動力だと思います。例えば募金活動でも、一生懸命やる人はそこで感動しているんです。茶髪の若者が途上国の子どものために募金する。それを見て、『世の中捨てたもんじゃない』と感動している。人のためにやりながら、自分が元気をもらえる。それがボランティアの楽しさかもしれません。



やりたいと思ったら、考えずにやってみてください。いやだと思ったら、やめればいい。出会いなので、自分の合う活動に出会えばラッキー、と思って気軽にやってみるのが一番です。それと、これはボラみみのボランティアですが、ボランティアって20代~40代の働き盛りで忙しい人ほどやっている。活動がしっかりできる人は、仕事も充実しているようですよ。

—ありがとうございました。😊

1面の続きだよ!



連載

# DECOポンズボイス

「これからボランティアをはじめの方に」



矢澤 久子さん  
〈特定非営利活動法人  
ネットワーク大府 理事長〉

「聞

く」と「聴く」とは大きな違いがあります。

聞く……耳の中に閉じ込めています。相手の話を自分の価値観のもとに、自分に都合の良いように聞くこと。

聴く……耳と目と心で聴く。自分に都合の良いようではなく、相手の気持ち、相手の心を理解するように努め、相手の心情をありのままに聴く。

傾

聴とは、心を込めて、相手を本当に理解しようと思って、一生懸命に話を

聴くことです。相手の話をよりよく聴くためには、「笑顔で、うなずき、あいづちをし、繰り返しながら」聴くことで、信頼関係が生まれます。実際に会って伝わるのが100%としたら、文章で伝わることは7%、声のイントネーションと言葉の内容で伝わることは

45%。電話やメールではお互いに大切な情報の55%が捨て去られてしまうと言われていています。直接お話をすることがいかに大切なことか、お互いに満足できて気分転換になるか、「これからボランティアをはじめ方」にはぜひ「お話を聴く」気持ちを持っていただければと思います。



私

たちの団体は、高齢化社会・核家族化が進むにつれて増加する一人暮らしの方が、日常生活を維持することが困難になった時「住み慣れたところで安心して暮らせるまち」を目指して、住民参加の互助活動を行っています。デンソーさんのNPOインターンシップ研修や現場体験研修の参加者、日本福祉大学の学生さんや中学生のボランティアのみなさんから「人とコミュニケーションを取ることがこんなに楽しいものだ」と気づかされた」「たくさんのことを体験できた」「暖かく迎えていただいた」「ありがとう

と感謝された」「笑顔で接してもらった」とうれしい報告を受けています。またデイサービスには毎日、地域のボランティアの方が交代で、踊り・三味線・ギター・ハーモニカ・体操・手品・お話し相手などに訪問していただきます。近所の小学生やデンソー社員OBの方もいらっしゃいます。

み

なさんもお仕事以外に、地域にも目を向けてみてはいかがでしょうか？ 挨拶から始め、交流に発展すれば、子育て、防犯、環境、高齢化など地域の問題に気づくことでしょう。「足りないサービスは何か」「安心・安全とは」「まちづくり」…。一緒に考えてみませんか？ みなさんも地域に出てみましょう。

デコ通2